

平成30年度 第2回瑞穂町総合教育会議 次第

日時：平成31年3月20日（水）

午後2時から

場所：スカイホール会議室

1 開会

2 町長挨拶

3 議題

- 1) 瑞穂町の施策について
- 2) 平成30年度 教育委員会の施策について
- 3) その他

4 閉会

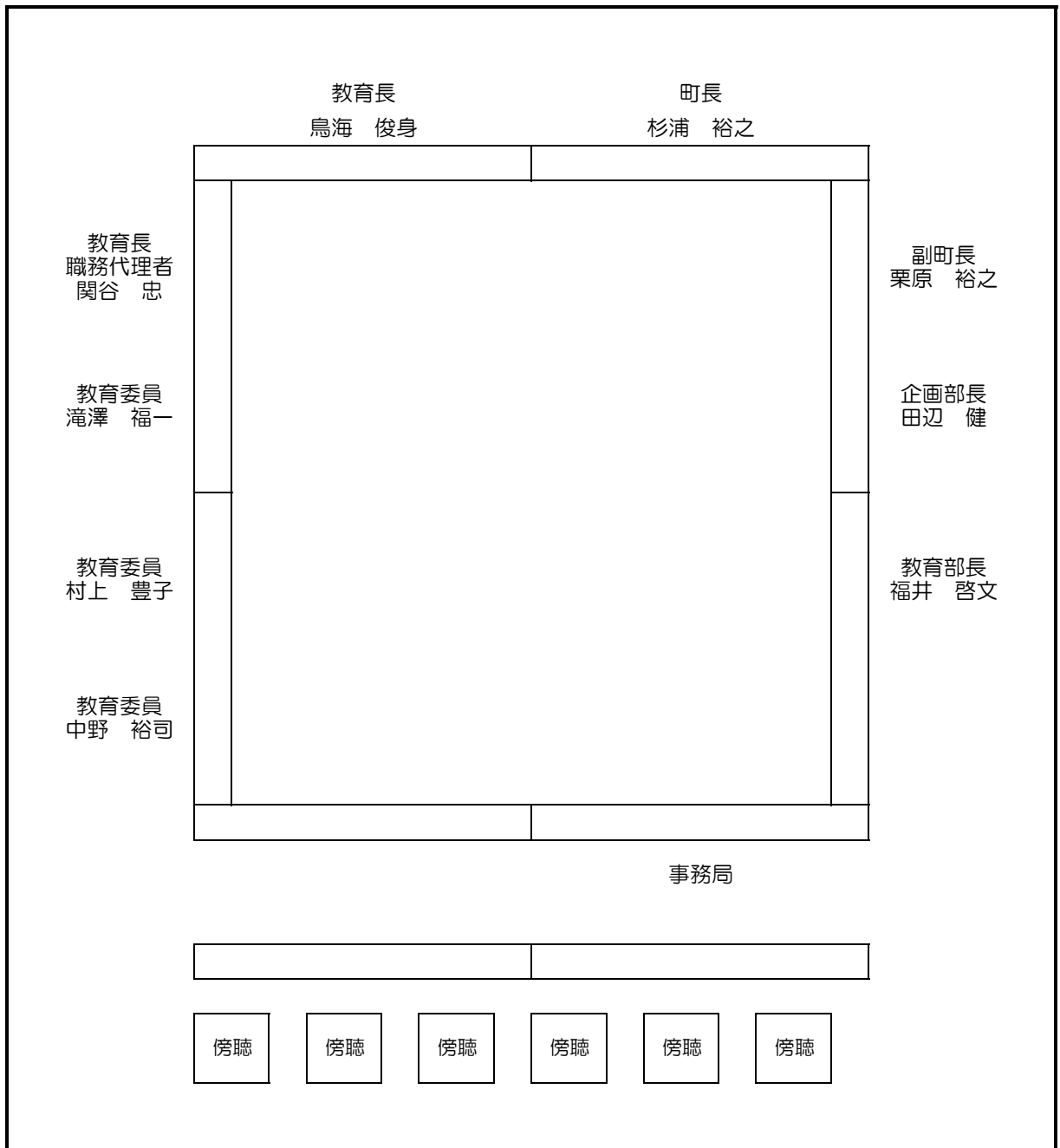
【机上配布資料】

- 平成30年度 第2回瑞穂町総合教育会議 次第
- 平成30年度 第2回瑞穂町総合教育会議 席次
- 資料1 瑞穂町の施策について
 - 別紙 1-1 防犯カメラ管理・運用検査結果報告（H30.12.26 現在）
 - 別紙 1-2 平成30年度防犯カメラ設置委託 設置箇所位置図
 - 別紙 2-1 二本木公園遊具オープンセレモニー
 - 別紙 2-2 二本木公園に設置した遊具
- 資料2 平成30年度 教育委員会の施策について

平成30年度 第2回総合教育会議 席次

スカイホール会議室

窓 際



出入口

廊 下

瑞穂町の施策について

1 ひとり親家庭への支援拡充について

(1) 経緯

平成29年11月に実施した「ひとり親家庭実態調査」結果に基づき、平成30年5月にホームページを見直し、自立支援に向けた情報などを分かりやすくしました。具体的な負担軽減を図るため各課と検討を行った結果、平成31年度から4つの支援事業を実施し、ひとり親家庭支援の拡充を図るものです。

(2) 事業概要

① ひとり親家庭向けリーフレットの作成

ひとり親家庭支援の各事業や関係機関の案内等、わかりやすくまとめ、情報提供をします。

② ひとり親家庭支援乳がん検診無料受診事業

現在、健康課では乳がん検診を1人1,600円の自己負担で実施していますが、ひとり親家庭（40歳以上の女性）の自己負担額を無料にすることで、受診の動機づけを図り、がん予防及び早期発見を推進します。

③ ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業

義務教育終了前の児童（未就学児を含む。）を養育しているひとり親家庭が、修学、就労等に向けた時間の確保のため、または疾病などにより、一時的に生活援助を必要とする場合にホームヘルパーを派遣することで、生活の安定を図ります。

④ ひとり親家庭学校給食費補助金交付事業

現在、教育課で就学援助費制度により公立小・中学校の給食費を支給していますが、ひとり親家庭への給食費補助を拡大することにより、ひとり親家庭の経済負担を軽減し、生活の安定を図ります。

(3) 支援対象者等

① ひとり親家庭に向け、窓口配布やパンフレットスタンドへ常置します。

② 児童扶養手当の受給者で、40歳以上の女性。

③ 義務教育終了前の児童（未就学児を含む。）を養育しているひとり親家庭で要支援世帯。

④ 現行の就学援助費受給者（生活保護基準の1.5倍以下）に新たな収入条件（1.75倍以下）を付した公立小・中学校に通うひとり親家庭の児童・生徒。

(4) 予算措置

- ① A4判三つ折り 両面カラー印刷 1,000部 16,200円
- ② 40歳以上女性で児童扶養手当受給者約160名 256,000円
- ③ 委託派遣事業所への派遣委託料 1世帯見込み 421,000円
(東京都補助 3/4・利用者の所得により自己負担額あり)
- ④ 小学生18名、中学生7名、計25名見込み 1,166,000円

2 防犯カメラの増設について

平成30年度設置箇所(別紙資料参照)

通学路 5台

公園 2台(松山公園、二本木公園に1台ずつ)

その他、元狭山広域防災広場に設置してあった可搬式カメラを
長岡公園に移設(1台)

ビューパーク 1台(ジュンサイ池公園)

平成31年度設置予定箇所

公園 2台(富士山公園、駒形公園)

場所未定 3台(関係機関と協議後、場所を決定する)

3 特色ある公園の整備について

平成30年度実施

二本木公園

(二本木公園遊具等設置工事:別紙オープンセレモニー次第参照)

平成31年度実施予定

むさしの公園

二本木公園遊具オープンセレモニー



日時：平成31年3月22日(金) 午後3時

瑞穂町

二本木公園遊具オープンセレモニー

式 次 第

1 開 式

2 主 催 者 挨 拶

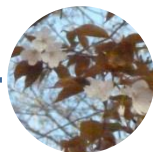
3 遊 具 概 要 説 明

4 記 念 撮 影

5 閉 式



白花カタクリ



サクラ



ウメ

カタクリの花が見頃を迎えています

福祉バス バス停（花多来里の郷）をご利用ください

二本木公園遊具概要

二本木公園を特色のある公園として整備するにあたり、多くのご意見、ご協力を賜り、ありがとうございました。

皆様のご協力により新しい遊具を完成することができました。

この遊具には、瑞穂第三小学校付近の高台を榎台といいますが、ここに二本の榎があったという伝承があり、そのために二本木と名づけられたという説があることから、榎の葉をモチーフとしたサインを滑り台に取付けました。また、二本木公園の特徴でもある斜面を利用した滑り台を配置し、その他の遊具も、傾斜を利用した配置としました。傾斜を利用することにより、バランス感覚なども自然に身につくことと思われます。

児童用遊具、幼児用遊具共に、一つの遊具だけではなく、複数の遊具の組合せにより、いろんな遊び方ができるかと思います。

子ども達の自由な発想により、遊び方は無限にも広がっていくことでしょう。

主な遊具

児童用遊具

ローラースライダー、モーグルヒル、ワームホールウォール、ポストループクライム、など

幼児用遊具

全方位滑り台、ダブルスライダー、ザイル渡り、スイング遊具など

工事概要

件 名：公園遊具等設置工事（二本木公園）

工 期：平成30年10月9日から平成31年3月18日

工事内容：撤去工(滑り台撤去など) 1式、
造成工(法面整形工など) 1式、
施設整備工(幼児、児童用複合遊具など) 1式、
植栽工(芝張工など) 1式、舗装工(芝生保護マット) 1式、
その他(仮囲など) 1式、諸経費 1式

整備費用 2, 862万円

防衛省補助金

特定防衛施設周辺整備調整交付金2, 800万円



児童用遊具

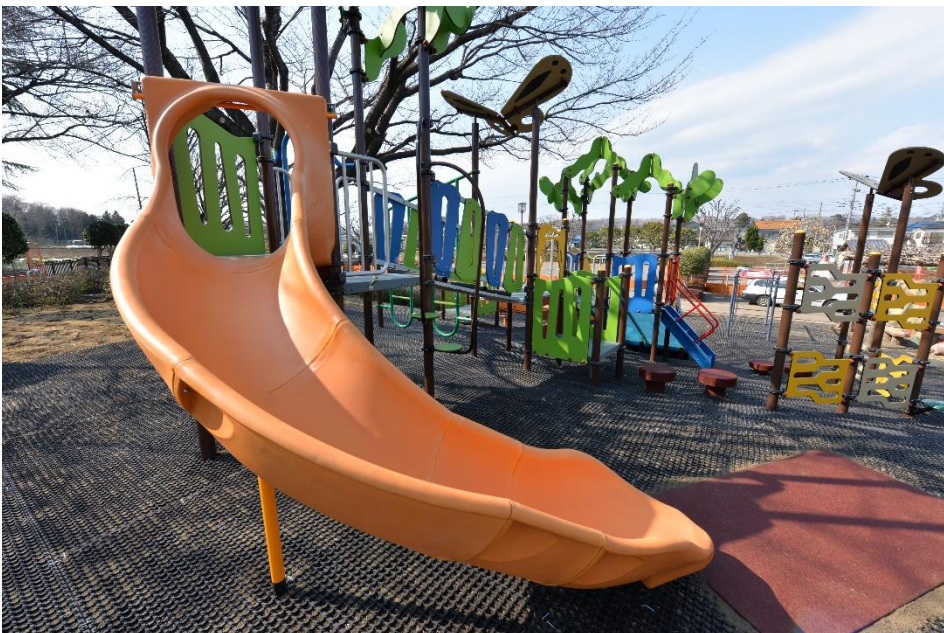
【全景】



ローラー滑り台、モーグルヒル、ラバーステップ、ワームホールウォール、春にはチョウチョが舞うイメージのチョウチョアーチなど公園の特色である丘を利用した遊具です



ローラー滑り台
公園の特色である丘を利用したローラー滑り台



スライドワインダー
丘の上には、隠れた滑り台があります



クワッドツリー
二本木の名称の由来となっ
た榎の葉をモチーフにした
サイン



モーグルヒル滑り台
スキー競技のモーグルヒル
のように、左右に振られた
り、飛び跳ねたり少し変わ
った滑り台



幼児用遊具

【全景】

ダブルスライダー

斜面を利用した、お父さん
お母さんと手をつないで滑
れる滑り台

お隣のお友達と一緒に滑る
こともできる

右にはザイル渡り。奥には
ザイルトンネルが見えます



ザイル渡り

少し怖いかも知れないけど
渡れた感動は大きい

奥にはザイルトンネルがあ
ります



全方位滑り台

少し軟らかいマットのよう
な滑り台。小さなお子様で
も滑れます



スイング遊具
お友達と一緒に乗って遊び
ましょう

平成30年度 教育委員会の施策について

1 平成30年度教育委員会予算における重点事業等について

教育委員会の主な事業を新規事業、重点事業、レベルアップ事業の3つに区分して事業を推進しています。（別紙参照）

区 分	新規事業	重点事業	レベルアップ事業	合 計
教 育 課	5	7	1	13
指 導 課	1	12	1	14
社会教育課	2	13	0	15
図 書 館	0	11	1	12
合 計	8	43	3	54

出典：平成30年2月教育委員会定例会資料

2 平成30年度教育委員会の主要施策について

※【 】は別紙の番号です。
※契約額等の金額は決算見込額です。

ソフト事業

（1）教育基本計画（学校教育）の改定【No. 24】

〔事業目的及び概要〕

教育基本計画（学校教育）は、計画期間10年（平成22年度～平成31年度）が満了することから、平成30年度・平成31年度の2か年で次期計画を策定します。なお、次期計画の計画期間は、平成32年度から平成41年度までの10年とします。

〔事業進捗状況〕

ア スケジュール

- 平成30年 8月 教育基本計画策定のためのアンケート実施
 - ▷ 対象者 児童・生徒、保護者、教員
- 平成31年 3月 教育基本計画審議会条例制定
- 4月 審議会委員選任・委嘱

- イ その他
 - ▷ 平成30年度は計画改定のためのデータ収集を行い、平成31年度に開催の教育基本計画審議会の議論を経て計画を確定します。
 - ▷ 計画改定に係る事務は業者委託でなく指導課が行います。

（２）教員の授業力向上【No. 18】

〔事業目的及び概要〕

次代を担う子どもたちを育成するためには、教員の教科指導、生活指導や児童・生徒理解に関する質の高い指導力が一層求められます。特に、町の教育課題である児童・生徒の「学力向上」を図るためには、教員の授業力向上が必須であることから、全校を研究推進校として位置づけ、組織として子ども達の実態に即した授業に改善するための取組みを行います。また、個々の教員の力量を高めるため、授業実践を主とした各種研修を通して授業力向上を図ります。

〔事業進捗状況〕

ア 校内研修事業

全校を瑞穂町教育委員会研究推進校として指定するとともに、研究発表会を開催し広く研究の成果を発信しています。

※平成30年度研究発表校 五小、二中

イ 町教育研究会

新学習指導要領を踏まえた小学校教員と中学校教員の共同研究

ウ 学力向上推進委員会

教員で組織した学力向上委員会の開催（年5回）

エ 年次研修（初任者、2年次、3年次）

授業力向上を目的とした研修の強化と教員の育成

オ 外部研修会・研究発表会

東京都教職員研修センター主催の研修や都内先駆的な研究発表会への参加

カ 指導課の訪問指導

指導課長、統括指導主事、指導主事の学校訪問による指導・助言

（３）ふるさと学習「みずほ学」の推進【No. 17】

〔事業目的及び概要〕

ふるさと瑞穂の自然や文化を大切にするとともに、郷土を誇れる子ども、地域社会の一員としての役割を担う子どもを育成します。同時に、新学習指導要領の大きな柱である「主体的・対話的で深い学び」という視点から思考力・判断力・表現力を育成し、学力の向上に繋がります。

〔事業進捗状況〕

各小中学校では、平成29年4月から「みずほ学」を教育課程に位置付け、発達段階に応じた教育を進めています。図書館と連携し郷土資料館「けやき館」の学芸員による観察会や地域の人材を「まちの先生」として活用することで経験を通じた学習の推進を図ります。

〔取組例〕

教育委員会主催事業

- ▷ 小学3年生 みずほかるたプロジェクト
- ▷ 小学3年生 だるまづくりプロジェクト
～中学生
- ▷ 中学2年生 みずほの風景画（絵はがき）プロジェクト

(4) フューチャースクール（小・中学生）の実施【No. 14】

〔事業目的及び概要〕

町内にある学習塾を活用して補習・発展学習を実施することにより、子供たちに学ぶ習慣を身につけさせるとともに、一人ひとりの子供が自らの目標を達成できる学力の向上を目指します。

〔事業進捗状況〕

ア 小学生

- ①期 間 平成30年 5月～平成31年 3月 各校20回実施
- ②対 象 6年生
- ③参加者 108人（参加率40.3%）
- ④委託先 代々木進学ゼミナール
- ⑤契約額 1,944,000円

イ 中学生

- ①期 間 平成30年 6月～平成31年 3月 各校20回実施
- ②対 象 全学年
- ③参加者 146人（参加率16.5%）
- ④委託先 代々木進学ゼミナール（瑞中）、スクールIE（二中）
- ⑤契約額 8,147,196円

(5) ICT教育施設整備計画の策定

〔事業目的及び概要〕

教育の情報化と新学習要領への対応や第4次瑞穂町長期総合計画後期基本計画等で掲げる「ICT教育の推進」の実現に向け、新たに「ICT教育施設整備計画」を平成30年度に策定しました。

〔概要〕

- ア 計画期間 平成30年度～平成34年度（5年）
- イ 内 容
 - ①計画策定の趣旨
 - ②学校のICT化の状況
 - ③取組（整備）内容
 - ④ICT機器等の利活用による効果
 - ⑤計画の推進

〔策定経過等〕

ア 策定経過

平成30年 5月 ICT教育施設整備計画策定委員会を組織
※10月までに3回の会議を開催

平成31年 1月 教育委員会定例会で計画案を上程・可決

イ 今後の予定

平成31年度以降、計画に基づき予算の範囲内で整備を実施します。

（６）町独自の学力調査の実施【No. 14】

〔事業目的及び概要〕

児童・生徒の学力の定着の確認を行うため、町独自の学力調査を実施します。また、調査結果は、傾向を分析することにより教員の指導方法の参考とします。この調査を行うことにより国や都が主体となる学力調査では確認できない同一集団における学力の経年変化を確認することが可能となります。

〔事業進捗状況〕

- ア 実施日 平成30年 4月17日（小学校）
平成30年 4月19日（中学校）
- イ 対象 小学3・4年生 国語、算数
中学1年生 国語、算数
中学2・3年生 国語、数学、英語

（７）中学生「東京駅伝」大会への参加【No. 21】

〔事業目的及び概要〕

大会は、東京都教育委員会の主催により中学生の健康増進や持久力をはじめとする体力向上、スポーツの振興及び生徒の競技力の向上を目的に、区市町村を単位としたチームで開催されています。今年で10回目の開催となりますが、町村で唯一、瑞穂町が初回から出場しています。

〔事業進捗状況〕

- ア 開催日 平成31年 2月 3日
- イ 場所 アミノバイタルフィールド（味の素スタジアム内）・都立武蔵野の森公園
- ウ 対象 中学2年生
- エ 出場 23区、26市と瑞穂町の計50チーム
- オ 結果 女子49位（34位） ※（ ）内は前年度実績
男子34位（48位）
総合41位（41位）
※男子は過去の記録を上回ったことから特別賞を受賞しました。
- カ その他 瑞穂町陸上競技クラブのご協力をいただき、選手選考会や大会会場での試走会を開催しました。

（８）ひとり親家庭学校給食費補助事業実施に向けた制度構築（準備行為）

〔事業目的及び概要〕

ひとり親家庭を対象とした「学校給食費補助制度」を拡充し、保護者の経済的負担の軽減を図ります。

〔事業進捗状況〕

- ア 対象者 子供が公立小・中学校に通う町内在住のひとり親家庭の保護者
- イ 基準 現行の就学援助制度の収入基準（生活保護基準の1.5倍以下）に加え、新たな収入基準（生活保護基準の1.5倍を超え1.75倍以下）を設けます。

ウ スケジュール

平成31年

3月

要綱を制定

同月

平成31年度一般会計当初予算として予算を上
程・可決

4月

補助金申請受付

8月

補助金交付

※補助金交付月：8月、12月、3月

(9) ICT教育施設整備事業（小・中学校への大型ディスプレイ整備）【No.13】

〔事業目的及び概要〕

児童・生徒へのICT教育を推進するため、平成30年度から順次、各校の普通教室へ大型ディスプレイ（液晶テレビ）を配備します。

〔事業進捗状況〕

ア 契約日 平成30年 7月13日

イ 契約額 3,238,704円

※校長室及び職員室に配備した大型ディスプレイを含みます。

ウ 配 備 小学4～6年生の教室へ合計25台を配備しました。

(10) 小・中学校へのケーブルテレビ導入事業

〔事業目的及び概要〕

教職員や子どもたちに町のすばらしさをアピールすると同時に学習のきっかけづくりを提供することを目的に、全ての小・中学校へケーブルテレビを導入し、町の地域情報や町制作の番組が視聴できるようにします。

〔事業進捗状況〕

工 事

▷ 期 間 平成30年 7月6日～平成30年 8月24日

▷ 契約額 1,555,200円

(11) 町民体育祭在り方検討会の開催

〔事業目的及び概要〕

平成30年度休止とした町民体育祭の在り方について意見を聴くため、「町民体育祭在り方検討会要綱」を制定し、会議を開催しました。

〔事業進捗状況〕

ア 構成員 知識経験者をはじめ町内各種団体代表者と町職員の合計10人

イ 会 議 平成30年10月17日 第1回会議

12月10日 第2回会議

平成31年 2月14日 第3回会議

ウ 主な協議事項

▷ 町民体育祭の在り方について

▷ 競技種目について

(12) 青少年国際交流事業（訪問団の受け入れ）【No. 30】

〔事業目的及び概要〕

姉妹都市との交流を深めるとともに町の中学生をはじめとする町民の国際感覚を養うことを目的に米国モーガンヒル市からの派遣団を受け入れました。

〔事業進捗状況〕

ア 期 間 平成30年 6月29日～平成30年 7月 9日（11日間）
イ 人 数 中学生8人、同行者2人 合計10人
ウ 決算額 1,030,038円

(13) 瑞穂町図書館改修事業

〔事業目的及び概要〕

図書館は、昭和48年に建設し45年が経過しています。耐震診断では基準を満たしていますが、設備の老朽化が著しく、特に空調設備は正常に稼働していない状態が続いています。このことから、バリアフリーやユニバーサルデザインにも配慮した改修を実施し、住民に親しまれる図書館を目指します。

〔事業進捗状況〕

平成30年11月	補助事業採択に向けての協議開始（北関東防衛局）
平成31年 3月	平成31年度一般会計当初予算へ継続費（平成31年度～平成33年度）として事業を上程・議決
同月	基本計画、基本設計及び実施設計業務委託業者選定
平成31年度～	
平成32年度	基本計画、基本設計及び実施設計業務委託
平成32年度～	
平成33年度	改修事業実施

〔総事業費〕 ※平成31年度一般会計当初予算（継続費）

649,680,000円

(14) 地域資料 図書館・資料館連携事業【No. 43】

〔事業目的及び概要〕

図書館振興財団助成金を活用し図書館と郷土資料館が連携した地域資料活用事業を実施しました。平成29年度までに被写体認証技術を使い町内の文化財等にスマートフォンなどの携帯端末をかざすと、その場所の懐かしい写真や地域資料等の関連ページを携帯端末で見ることができるシステムを構築しました。

平成30年度は、「あなたの知らない世界」をテーマとして水中画像、ドローン撮影、定点観測画像等、今でしか記録できない画像集を作成し、町の地域資料の新たな魅力発信を行います。

〔事業進捗状況〕

ア 公開日 平成31年 3月29日
イ 契約額 4,799,952円

- ウ その他 ①公開記念講座 平成30年 8月 4日
- ▷ テーマ 「写真をとってタイムカプセルをつくれ」
 - ▷ 内 容 子ども写真教室 ーとっておきの瑞穂町ー
 - ▷ 講 師 坂井知志氏（常磐大学教授）
坂井岳志氏（日本教育情報学会理事）
- ②町内で撮影した特殊画像等をホームページで公開
- ③デジタル資料のダイジェスト版作成

(15) 図書館を使った「調べる学習コンクール」の開催

〔事業目的及び概要〕

図書館の活用促進と調べることの楽しさや考える力を身につけることを目的に「調べる学習コンクール」を開催しました。また、入賞者の中から上位6作品を瑞穂町の代表として全国コンクールへ推薦しました。

〔事業進捗状況〕

- ア 応募期間 平成30年 9月 1日～平成30年 9月30日
- イ 対 象 者 小学生・中学生・大人（高校生以上）
- ウ 応募作品 283作品（内訳：小学生283作品）
- エ 入 賞 10作品

※全国コンクールへ推薦した上位6作品は、すべて佳作でした。

(16) ふるさとづくり推進事業（郷土文化）【No.54】

〔事業目的及び概要〕

これまで町では、先人たちが築いた文化や歴史、観光資源、町の豊かな自然や美しい景観など、町を再発見するための資料を町民と協働で作成しました。平成30年度、この資料を活用し町の魅力が学べる「歴史」、「観光」、「自然」の3コースによる「瑞穂ふるさと大学」を開校しました。

〔事業進捗状況〕

- ア 内 容 歴史コース、観光コース、自然コース、それぞれ講座2回、地域めぐり1回
- イ 参加者 歴史コース43人、観光コース42人、自然コース43人
- ウ その他 ▷ 今後、ふるさとづくりを推進するコーディネーター育成のため瑞穂検定（仮称）を実施します。

(1) 小・中学校体育館等非構造部材耐震化事業【No. 1】

〔事業目的及び概要〕

震災時の児童・生徒の安全を確保するとともに、「瑞穂町地域防災計画」で定められた避難所としての機能を確保するため、すべての小・中学校の体育館及び中学校武道場の天井、照明器具や窓ガラスなどの非構造部材の耐震補強を行います。

〔事業進捗状況〕

ア 一小・三小

①工 事

- ▷ 期 間 平成30年 6月16日～平成30年11月12日
- ▷ 契約額 99,954,000円

②工事監理委託

- ▷ 期 間 平成30年 6月16日～平成30年11月12日
- ▷ 契約額 4,023,000円

イ 二小・四小・五小

①工 事

- ▷ 期 間 平成30年 6月16日～平成30年11月30日
- ▷ 契約額 106,056,000円

②工事監理委託

- ▷ 期 間 平成30年 6月16日～平成30年11月30日
- ▷ 契約額 5,119,200円

ウ 瑞中・二中

①工 事

- ▷ 期 間 平成30年 6月16日～平成30年12月28日
- ▷ 契約額 134,568,000円

②工事監理委託

- ▷ 期 間 平成30年 6月16日～平成30年12月28日
- ▷ 契約額 6,085,800円

(2) スカイホール大・小ホール調光盤更新事業【No. 29】

〔事業目的及び概要〕

調光盤は、設置から28年が経過し老朽化が進むと同時に交換部品の製造も終了しています。このようなことから、調光盤が故障した際にホールの運営に支障が生じるため更新工事を行うものです。

※調光盤とは劇場やテレビスタジオで大掛かりな照明設備を制御する装置の中心を担う機能が収められている箱型の装置です。

〔事業進捗状況〕

ア 調査・設計委託

- ▷ 期 間 平成30年 5月21日～平成30年 6月25日
- ▷ 契約額 1,274,400円

イ 工 事

- ▷ 期 間 平成30年 9月 6日～平成31年 3月22日
- ▷ 契約額 100,980,000円

ウ 工事監理委託

- ▷ 期 間 平成30年 9月 6日～平成31年 3月22日
- ▷ 契約額 3,996,000円

空白ページ

平成30年度瑞穂町教育委員会重点事業等一覧

No	事業区分	事業名	所管
1	レベルアップ	小中学校屋内運動場等非構造部材耐震化事業（工事・監理）	教育課
2	新規	二小プール付属棟屋上防水等工事	
3	新規	四小防犯カメラ設備更新工事	
4	新規	五小ブランコ更新工事	
5	新規	五小音声調整卓等更新工事	
6	新規	瑞中防犯カメラ設備更新工事	
7	重点	学校施設の修繕	
8	重点	教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検報告及び評価	
9	重点	教育委員会ホームページ及び「みずほの教育」の充実	
10	重点	高等学校等入学時奨学金	
11	重点	就学援助費、特別支援教育就学奨励費の支給	
12	重点	学校保健の充実	
13	重点	I C T教育施設整備事業（小・中学校授業用大型ディスプレイ等購入）	
14	レベルアップ	学力の向上（学習サポーターの配置、フューチャースクール・ステップアップ教室の実施、漢字・英語検定の実施、東京ベーシックドリルの配布、学力調査の実施）	指導課
15	重点	教育相談の充実（教育相談員の配置、心理検査の実施、相談員の研修、適応指導教室の充実、家庭と子供の支援員の配置）	
16	重点	特別支援教育の充実（教育支援補助員・特別支援学級介助員の配置、巡回相談・専門家チーム派遣の実施、言語相談の実施、通級支援委員会・就学支援委員会の開催）	
17	重点	ふるさと教育の推進（ゲストティーチャーの招聘、伝統・文化体験事業、クリアファイルの配布）	
18	重点	教職員研修事業の推進（校内研究の推進、教職員研修の実施、教育研究会への助成、教職員の救命講習の受講）	
19	重点	外国語（英語）・外国語活動の充実（A L Tの派遣）	
20	重点	日本の伝統文化の理解教育の推進と未来に向かう力の育成（茶道教室の実施、鑑賞教室の実施、栽培活動）	
21	重点	健やかな身体づくりと体力の育成（体力調査の実施、中学生「東京駅伝」大会への参加、水泳指導補助員の配置）	
22	重点	学校評価の充実（第三者評価の実施）	
23	重点	部活動の充実（外部指導員の配置、大会等の参加費・旅費の補助）	
24	新規	第2次教育基本計画（学校教育）策定	
25	重点	学校事務の支援（臨時職員の配置）	
26	重点	教職員の健康診断の実施（循環器、結核、消化器、婦人科検診）	
27	重点	学校図書館の充実（学校図書館司書の配置）	

No	事業区分	事業名	所管
28	新規	多摩・島しょ広域連携活動助成事業 子ども体験塾 「（仮称）宇宙をもっと身近に」	社会 教育 課
29	新規	スカイホール大小ホール調光盤更新工事	
30	重点	青少年国際交流事業	
31	重点	住民提案型協働事業の充実	
32	重点	こどもフェスティバルの開催	
33	重点	放課後子ども教室の実施	
34	重点	成人式の開催	
35	重点	体験事業の実施（ジュニアリーダー養成講座）	
36	重点	青少年の主張意見発表会の実施	
37	重点	子ども会連合会や地区青少年協議会への支援	
38	重点	長岡トレーニングルーム管理運営業務	
39	重点	社会体育事業の実施（残堀川ウオーキング、町民体育祭）	
40	重点	スポーツ推進委員主管事業の実施 （狭山丘陵ウオーキング、町民ハイキング、新年歩こう会、ニュース スポーツ教室他）	図 書 館
41	重点	体育協会への事業委託 （各体育施設の維持管理）	
42	重点	体育協会への事業委託 （総合体育大会、小学生スキー教室、駅伝競走大会）	
43	レベル アップ	地域資料図書館・資料館連携事業等委託	
44	重点	図書館協議会の充実	
45	重点	貸出体制の充実	
46	重点	図書資料の充実	
47	重点	施設の維持管理	
48	重点	指定文化財保存、管理	
49	重点	耕心館管理運営	
50	重点	郷土資料館管理運営	
51	重点	埋蔵文化財包蔵地内等試掘調査補助金対象事業の実施	
52	重点	郷土の歴史に関する講座の開催	
53	重点	収蔵文化財の保存、活用	
54	重点	ふるさとづくり推進事業の実施	